

受領 令和3年11月22日 8時43分

通告番号(8)1/2

令和3年11月22日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
津波古菊江 印

一般質問通告書

第513回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨

答弁を求める者

1 2025年問題

介護の現状は、2025年には団塊の世代が75歳以上となり、全国の高齢化率が30%に達し、沖縄県でも75歳以上が3割、高齢化率は25%ほどで、国内では32万人の介護人材が必要になると言われている。

当村においては、元気な高齢者を目指して健康増進センターや各自治会、団体などデイサービスや健康講座、健康体操、グランドゴルフ、パークゴルフなど積極的な取り組みが展開され官民連携の事業の推進がなされていることは充分評価されますが、その一方では在宅介護や介護の必要な方々の増加も懸念されます。介護が必要なのに病院や施設でも受けることが出来ない介護難民の増加も予測されており。その要因のひとつに介護職員の人材不足が挙げられております。2025年には全ての分野で人材不足となるが業種別で最も不足するのがサービス、次いで医療、福祉と続くとありますが、読谷村の現状と見解を伺う。

- (1) 認知症高齢者数が全国で約320万人。今後急速な増加が見込まれるというが当村の状況は。
- (2) 高齢者世帯数が、全国で約1840万世帯。約7割が一人暮らしか、高齢者夫婦のみ。(そのうち約680万世帯、約37%が1人世帯)当村の状況は。
- (3) 介護の現場での人材不足が懸念され、解決策の一つとして人材の確保で離職者の防止、生産性の向上と言われているが、見解は。

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>2 栄橋(虎地原線)を生活道路として整備、地域活性化を</p> <p>村内の道路行政は一部を除いて整備が進み改善されていきますが、村内が充実していくのと比例して、大湾交差点方面の朝夕の交通渋滞は依然として改善しません。毎朝のラジオ交通情報の常連となっているほどである。朝は嘉手納高校への送りの車も多く、牧原線の渋滞要因の一つではないかと思われます。日中の牧原線の利用車輦は近隣の町村から読谷村へ来る人が増えています。特に大湾シテイでのショッピングや食事会などで利用者の増加が顕著です。虎地原線の整備によって嘉手納高校への通学の利便性が車通学、自転車通学ともに高くなり、経済的効果も大きくなってくると思います。加えて災害時の高校生の避難道路としての活用も期待出来ます。見解を伺います。</p>	
<p>3 持続可能な村づくり、古着の回収事業始まる</p> <p>10月より波平公民館、楚辺公民館にて待望んでいた古着の回収ボックスが設置されました。回収状況と村民の反応はいかがでしょうか。</p>	